

ニッペ ファインルーフU

2液弱溶剤形トタンペイントの決定版！ファインルーフUの輝く美しい『つや』は、屋根を蘇らせます！豊富なカラーをラインアップ！つや有り21色・つや消し8色！！

■ 特長

① 高外観・高光沢

ファインルーフUの美しい『つや』は屋根を美しく蘇らせます。しっとりとした仕上がりになります。

② 耐候性

美しさをいつまでも守る抜群の耐候性。シリコングレードに近い耐候性でキラキラと輝く『つや』を保ちます。

③ 作業性

粘性を制御することにより、塗装時の下地への塗着性(転写性)が良好で、塗膜に肉厚感が得られます。

④ 乾燥性

塗装後の乾燥の立ち上がりが早いため、2コート目のはけ・ローラーが軽く作業性が良好です。

⑤ 豊富なカラーバリエーション

つや有り21色・つや消し8色のカラーバリエーションがあり、街並みの景観に合わせて個性を演出します。

⑥ 滑雪性

ファインルーフUの滑らかな仕上がりは、美しい『つや』と同時に滑雪効果を発揮します。

■ 用途

- ・戸建住宅・各種工場・体育館・公共施設などの鋼板屋根、トタン屋根用

■ 適用下地

- ・鋼板屋根・トタン屋根

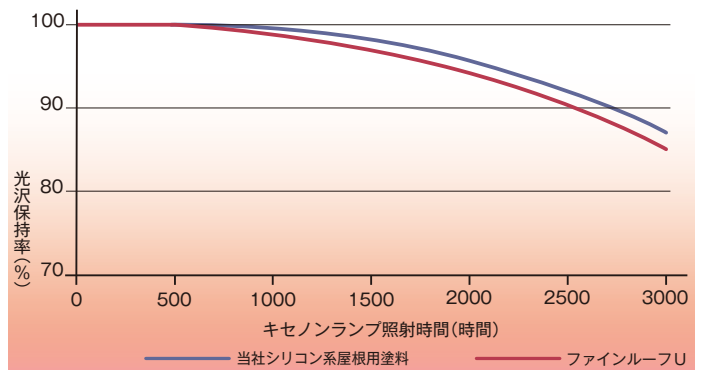
■ 適用下塗り

ハイボンルーフデクロ、1液ハイボンファインデクロ、ハイボンファインプライマーII

■ 美しい仕上がり



■ 耐候性試験比較



■ 製品体系

塗料名	ニッペファインルーフU
系統	2液形ポリウレタントタンペイント
容量	15kgセット(塗料液 13.5kg 硬化剤 1.5kg)
色相	つや有り21色 つや消し8色
つや	つや有り・つや消し※
塗料液：硬化剤 混合比(重量比)	9：1
ポットライフ (23℃)	8時間

※ファインルーフUつや消し塗料液には必ず「つや消し専用硬化剤」をご使用ください

■ 乾燥時間

塗装場所の気温	5～10℃	23℃	30℃
指触乾燥	60分	30分	20分
塗り重ね乾燥	16時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内	3時間以上 5日以内

標準塗装仕様

●鋼板屋根・トタン屋根 塗り替え

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具やサンドペーパー、研磨布などを用いて除去し清掃する。						
下塗り	ハイポルーフデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用シンナー A	5~10	はけ、ローラー
	1液ハイボンファインデクロ	1	0.13~0.15	4時間以上 7日以内	塗料用シンナー A	5~10	はけ、ローラー
	ハイボンファインプライマーⅡ	1	0.16~0.18	4時間以上※1 7日以内	塗料用シンナー A	0~10 0~5	はけ、ローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペファイナルーフU※2	2	0.11~0.14	4時間以上 7日以内	塗料用シンナー A	0~5 5~10	はけ、ローラー エアレススプレー

注) 上記の各数値は、すべての標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などによりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

注) ファイナルーフUの中塗りとしてファイナルーフⅡを使用することは可能ですが、つやが異なりますので、上塗り工程での塗継ぎは避けてください。

※1) 夏場(高温下)では硬化反応が著しく速まるため、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。塗り重ね時間を過ぎると上塗りとの密着性が悪くなります。その場合は再度下塗りを塗装するか、ペーパーをかけるなどしてください。

※2) ファイナルーフUつや消しを塗装する場合は、エアレススプレー、ワールローラーでの施工をおすすめします。

ファイナルーフUつや消しには、必ず「つや消し専用の硬化剤」をご使用ください。不具合が生じる恐れがあるので、つや有り用の硬化剤と取り違えないようご注意ください。

施工上の注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などでご確認ください)

- 昼夜の温度差が激しい時期や、山間部など夜露の早く降りる地域では、結露によるつや引け現象が起こりやすいため、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。
塗装後早期に結露の影響を受けると光沢低下や膨れ、割れ、はく離の原因になります。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- なみながたトタンの山の部分やトタン板の継ぎ目、折り曲げ部分は、膜が薄くなりがちです。先に拾い塗りするのが長持ちさせるコツです。
- 塗り重ねは規定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。硬化が不十分な場合は、塗料用シンナーで再溶解するおそれがあります。
- トタン素地が見えている所、さびの生じている所はケレン後、必ずさび止め塗料を塗装してください。使用できるさび止め塗料については、各塗装仕様書をご参照ください。
- 鉛酸カルシウムさび止めは、下塗りに使用しないでください。
- 塩ビ鋼板の上の塗装は、避けてください。ただし、経年でつやが引けているような塩ビ鋼板に対しては、変性エポキシ樹脂プライマーを下塗りに使用することで塗装できる場合があります。詳細は事前にご相談ください。
- 積雪の荷重を最も受けやすい軒先の部分、瓦棟の凸部にこすり付けるように増し塗りを行ってください。
- 塗り替え直後は、滑雪性がよくなる場合があります。積雪時にまとまった雪が落ちる可能性がありますのでご注意ください。
- 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
- ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通しで塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 異なる色相を塗り重ねる場合(例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを侵してラインや帯などが変色(ブリードにより)する場合がありますのでご注意ください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりが作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 薄めすぎは隠べい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 干の塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
 東北支店 ☎ 022-232-6711 中国支店 ☎ 082-281-2180
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
 中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2024 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-C098

AA240615H
2024年6月現在